



2学期がスタートしました

9月1日(水)、いよいよ2学期がスタートしました。コロナ禍のなか、子供たちの体や心の状態が心配されましたが、1学期と変わらぬ元気よさ、明るい表情にほっとしました。また、2学期から2年生に2名、3年生に1名が舟橋小学校に転入し、全校児童が209名となりました。新しく3名の友達を迎え、子供たちはとてもうれしそうでした。

始業式は、校内放送を通して行いました。新型コロナウイルス感染症予防のため、これまでの予防の取組をよりしっかり実行してほしいこと、そして、こういうときにこそ、クラスの友達、学校の仲間と協力してがんばること、楽しむことがとても大切だということを伝えました。1学期以上にしっかりマスクを付けたり、丁寧に手洗いをしたりしている様子から、子供たちなりに今の状況を理解できているということが伝わってきます。

運動会を10月16日(土)に延期をしました。また、立山区域連合体育大会は中止となりました。コロナ禍において学校の教育活動は、どうしても制限されてしまいますが、それでも子供たちにとって、心に残る楽しい2学期となるよう教職員一同力を合わせていきたいと思ひます。



立山区域科学作品コンクール



保護者の方にご来校いただいたの校内夏休み作品展は中止としましたが、子供たちが頑張って取り組んだ自由研究や応募作品を各学級の教室前廊下等に展示しました。どれも力作ぞろいで、同学年の子供たちだけでなく、他学年の子供たちも足を止めて興味深そうに見ていました。

科学作品については、9月3日(金)に立山中央小学校で行われた立山区域科学作品コンクール審査会で、以下のような結果となりました。

どの研究も、自分のもった疑問を解決するために実験方法を工夫したり、データをもとに根拠をもって考察したりしています。また、一つの疑問が解決すると、新たな疑問についてさらに追究し、研究を深めており、夏休み中に粘り強く取り組んだ様子が伺えました。

◇優秀賞(県科学展に出品されます)

6年 本島 佑菜さん
「いろいろな素材のまさつ力を調べよう
～そこから分かった生活への工夫～」

◇優良賞

3年 瀬戸 漣太郎さん
「すすめ!風(かぜ)ぐるま」
6年 瀬戸 海尋さん
「植物の成長には何色の光が適している？」



舟橋村産の食材を使っています



(有機にんにくを使用したガーリックライス)



(シャインマスカットをおいしく食べる子供たち)

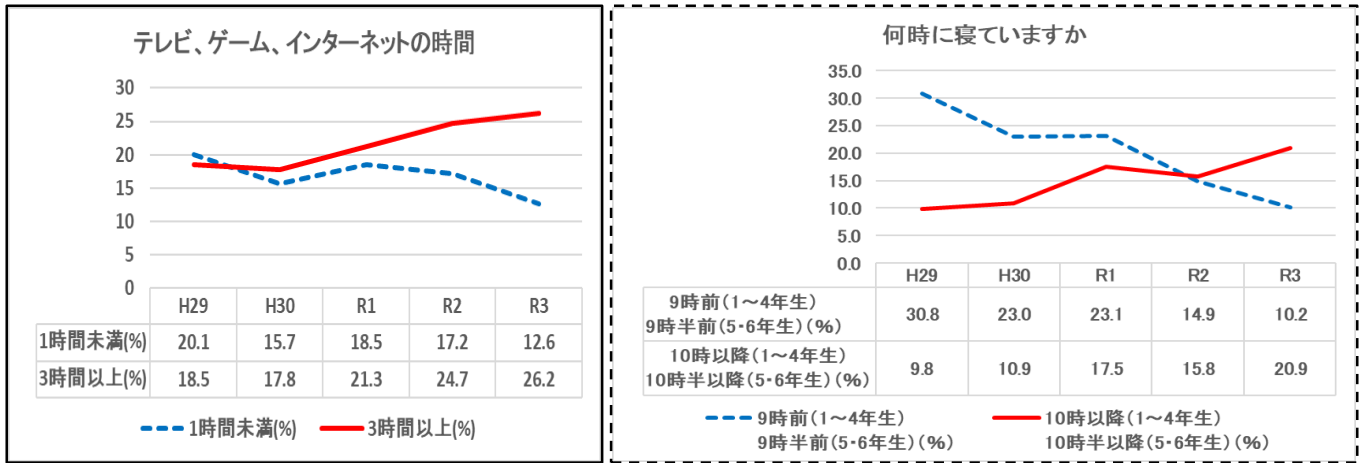
9月の給食では、舟橋村産の有機にんにくを使ってのガーリックライスやシャインマスカットをおいしくいただきました。給食には、「地産地消」の観点から、玉ねぎやきゅうり、かぼちゃ、とうがん等、地域の農産物が数多く使われています。「地産地消」のメリットは、地元の新鮮な野菜が手に入り、旬の野菜をおいしく食べられること、生産者の顔が見え安心感があることです。

舟橋村が好きな子供が多いのですが、給食を通して、さらに舟橋村のよさを感じてほしいと思ひています。

「健康づくりノート(とやまゲンキッズ作戦)」の結果より

7月に「健康づくりノート(とやまゲンキッズ作戦)」を実施しました。全校分の集計結果の中から生活習慣について2点取り上げます。(グラフは平成29年度から今年度までの経年比較です)

①テレビ、ゲーム、インターネットの時間について

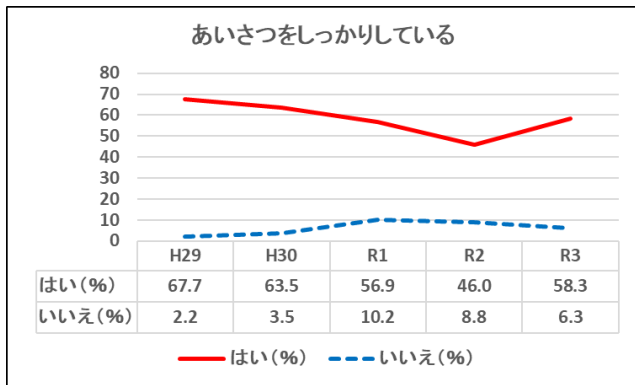


平成30年度から、3時間以上の割合が増えてきており、1時間未満の割合との差も大きくなっています。

今、子供たちを取り巻く環境のなかには、テレビやビデオ、パソコン、インターネット、ゲーム、スマートフォンやタブレットなどの電子媒体や電子機器が日常的に存在しています。社会における情報化が急速に進展しているなか、これらを効果的に活用していくことはとても重要で、学校教育の中にも積極的に取り入れていく方向に進んでいます。その一方で、様々なデメリットもあると言われていています。たとえば、「何時に寝ていますか」という問いに対して、寝る時刻が遅くなっている傾向があります。「テレビ、ゲーム、インターネットの時間」の増加と関わりがあるかは明らかではありませんが、生活習慣の乱れにつながっている可能性も考えられます。また、スマホやゲームの依存症、犯罪やいじめにつながるトラブル等、大きな社会問題にもつながっています。

学校では、学級活動や保健の学習等で、健康的な生活リズムをつくることの大切さ、電子媒体や電子機器の正しい使い方やつきあい方について、子供たちに理解させたいと考えています。ご家庭でも、お子さんとこのことについて話し合ってみてください。

②あいさつについて



「あいさつをしっかりとっている」という子供が増えていています。運営委員会や生活委員会、6年生の取組により、登校時にあいさつをしようという意識が高まってきているのだと思います。

ただ、学校評価での保護者の皆様からのご意見では、あいさつをしない子供が多いというご指摘を受けています。こちらからあいさつをすると返すことができる子供は少しずつ増えてきていますが、「自分から進んであいさつをする」「目を合わせてあいさつをする」子供は少ないような気がします。

学校では、あいさつが広がるよう子供たちのアイディアを活かしたり、授業の中であいさつの意味について子供たちに考えさせたりして、あいさつが定着するようにしていきたいと思っています。

10月の行事予定

- | | |
|----------------------------|--------------------------|
| 4日(月) 研究会のため下校 13:30 | 16日(土) 運動会(雨天順延) |
| 5日(火) 集金引き落とし日 | 22日(金) 振替休業日 |
| 8日(金) 委員会活動
(1~4年5限後下校) | 23日(土) 家庭読書の日 |
| 11日(月) 委員会活動
特別支援学級合同学習 | 25日(月) クラブ活動 |
| 12日(火) 運動会予行 | 28日(木) 就学時健診
下校 12:45 |

